



長年の夢がついに実現！
 新しい長崎丸が進水しました
 キーワードは「国際洋上キャンパス」



TOPICS
 Nagasaki University

新「長崎丸」進水

長崎大学水産学部附属練習船 長崎丸

起工/2017年2月15日 進水/2017年10月19日 竣工予定/2018年3月

全長	約68.93メートル
幅(型)	12.30メートル
深さ(型)(船楼甲板)	7.10メートル
総トン数	約1139トン
航海速度	約13.5ノット
最大搭載人員	70名(士官11名、部員14名、教員5名、学生40名)

に苦しみながら考えたのは、新しい船は日本の学生はもちろん、中国、台湾、韓国などの学生にも使ってもらえる国際キャンパスのような船にしようということ。東シナ海をはじめとする海洋の資源管理のために各国の学生や研究者が洋上で思う存分調査研究できるよう、最新の教育研究機材も搭載予定です。冬の海は荒れやすいのですが、揺れを抑える減揺装置が付いているので冬季の実習もやりやすくなるでしょう。また、三代目長崎丸は東日本大震災の折にいち早く被災地に赴き救援物資を届けたわけですが、その時の経験と教訓を生かして災害支援の設備も備える予定です。支援物資のコンテナが積み込みやすい設計で、必要とあらばドクターカーも搭載できます。

長崎丸は、今後艀装工事を経て、三月末には長崎にお目見えします。その際には一般公開イベントなども予定されています。船の内部や設備についてはあらためて来年度の「チョーホー」で詳しくお伝えします。

吹 き付ける風と逆巻く雲。先ほどまで降り続いてきた雨がふつとやんだ瞬間、音もなくゆっくり瀬戸の海に滑り出すのは「長崎丸」——白と青の二色の船首が美しい、水産学部の新しい附属練習船です。

全長約六十八・九三メートル、幅十二・三〇メートル、総トン数約一、一三九トン。長崎大学の四代目附属練習船「長崎丸」は、岡山県にある三井造船株式会社玉野艦船工場場で建造されました。昨年二月から建造が始まり、十月十九日には文部科学省の関係者をはじめ、河野茂学長、橋勝康学部長など水産学部関係者が列席する中、めでたく命名・進水式を迎えました。

この新「長崎丸」のキーワードは「国際洋上キャンパス」。海に入っていく船を目で追う橋学部長も笑みがこぼれます。「感無量です。長年の悲願でしたからね。新たに造るにあたって、どんな船にするべきか水産学部の教員たちで企画を練り上げました。ちょうど対馬沖で実習航海をしている船の上でしたが、大しけの海

